

意見交換会報告書

意見交換会の議題	商業振興について
意見交換会の相手先 (団体名等)	大和商工会議所商業部会
参加人数	21名
開催日時	平成28年11月16日(水) 午後3時00分～午後4時30分
開催場所	大和市議会 全員協議会室
担当議員	座長：中村一夫 司会者：古谷田力 記録者：河端恵美子 出席者：古木邦明 山崎佐由紀 石田 裕 堀口香奈 菊地 弘
要点等	別紙のとおり

大和市議会議長様

平成29年 3月 1日

大和市議会意見交換会実施要領第8条の規定により提出します。

意見交換会座長 中村 一夫

意見交換会

【挨拶】

菊地議長挨拶

- ・今日は大和商工会議所の商業部会と、市議会の文教市民経済常任委員会との意見交換会である。
- ・今まで議会でも協議してきた文化創造拠点もオープンした。新しい人も行き来するようになったので、その人たちに対してどのような営みを提供するか、またスポーツというものが大和市の発展につながるのではないか。
- ・意見交換会では、忌憚なく意見をいただきたい。

橋本商業部会長

- ・大和市のバックアップのもと商工会議所も新しくなり、活気づいている。また、シリウスもオープンとなり、夢と希望を持って、何かできないかと考えていたところに、この意見交換会を開催していただいた。
- ・今日の意見交換会を有意義に、議員の方々と一緒にやっていきたい。

【自己紹介】

(議員による自己紹介 (省略))

商工会議所

長谷川副会頭

商工会議所副会頭の長谷川である。

橋本商業部会長

商工会議所の商業部会長の橋本である。

岡田氏

株式会社メディカルフランシス代表の岡田である。

佐藤氏

株式会社サーテックの佐藤である。

神谷氏

大和市リサイクル協同組合の神谷である。

【意見交換】

中村座長

・大和市議会は議会基本条例、第3条では市民の皆様の多様な意見を踏まえて十分な討議をもとに議会運営を行うこと、また第4条では、市民生活に関わる課題について市民の皆様の多様な意見の的確な把握に努めることを議員の活動原則として、規定した。そのために市民や関係団体との意見交換を行うことを明記しており、このことから本会を開催した。

- ・開始にあたり、何点か説明する。
- ・第一に、これからの意見交換に際して、各議員は自由な意見表明を行う。各々の意見に関しては、議会の統一見解ではない。この点、ご承知願う。この意見交換会は、お互いの気づきの場としていきたい。
- ・第二に、市議会への要望はその可否を含めて検討してまいるが、市長その他執行機関に対する要望については、参考としてお聞きすることにとどまるので、あらかじめご了解をお願いする。
- ・第三に、今回の意見交換会については、会議録を公開するので、あらかじめご承知おき願う。
- ・議題は、「商業振興について」である。具体的には、「商業振興と商店街活性化について」、「本市商業をとりまく課題について」、「これからの本市商業振興の方向性について」である。
- ・商業振興というのは、商店街についてだけに限らないので、広く話していきたい。

① 商業振興と商店街活性化について

長谷川副会頭

- ・コンビニや大手商業施設にはできない仕事でないと、商店街の店舗も経営が厳しい。
- ・大企業も撤退し、企業に勤めていた社員の人の流れがなくなってしまった。また、その土地がマンションになってしまったため、飲食業も経営が厳しい。

石田議員

- ・ショッピングモールが原因で商店街が厳しい現状。商店街の各店舗、事業のクオリティーに関しては、努力によるものなので、行政が介入するのは違うと思う。
- ・行政としてできるのは、環境設定である。環境の面で差があると思う。イオンでは、無料の駐車場やこども一、ベビーカーでそのまま入れるなど財布を握っている母親が気にいるような店内の仕組みがある。
- ・商店街の環境は先に述べた環境とはかけ離れているので、駐車場を商店街利用者には料金がかからないようにするなどの取り組みをしてはどうか。

岡田氏

- ・二条通りから鶴間、そして踏切、座間をつなぐ道の事故が多くなっている。この件について、道路の拡幅など、誰に問い合わせたらよいかわからなかった。
- ・お年寄りの車での往来のことなどを、これから考えていかなくはいけないと思う。お年寄りについての取り組みも考えていただきたい。

中村座長

- ・高齢者についての視点はとても重要であると思う。高齢者が利用しやすい商店街というのが重要

になってくる。そのような意見はあるか。

神谷氏

- ・商店街も古くなってきた。一つ一つの商店街として成り立たせていくには、再開発のような形で、街並みづくりから行って、活性化させていかなければならない。

古谷田議員

- ・航空法で、建物は15階までしか建てられない。大手の建設会社が手を出しづらい。海老名では、そのようなものがないので、ビルを建てて、大企業を誘致できる。
- ・大和市は、高さ制限から大企業誘致が困難な状況にある。それによって、開発ができない状況を、国にも現在訴えている。人が来るようなものを作って、働きかけていきたい。

岡田氏

- ・商業地区、住宅地区が昔のままの区分になっている。大きな企業の誘致だけでなく、少しでも商業地区での高さ制限を緩和すれば、いわゆる中小企業でも来てもらえるのではないかと。
- ・お年寄りに優しい、異国情緒のある街など、そのようなコンセプトを打ち出せるとよいのではないかと。

堀口議員

- ・長谷川氏も発言しているように、コンビニが至るところにあり、高齢者もコンビニを利用する場面が多くなっている。
- ・特色のある店舗であれば、生き残れる。商店街の特色は、対面の良さだが、それを作るのが大変なように思う。いなげやに向かう道にも八百屋があるが、クリニックや美容室が多い状態になっている。
- ・地域の方からすると出かけられる、皆さんが集まれるような喫茶店が欲しいなどの要望がある。
- ・高齢者が、車椅子で通れない歩道もあるので、街並みの構造を変えていく必要がある。
- ・高齢化を迎えている中で、買い物をしたい方が、買い物ができる構造にしていかななくてはいけない。その中で、商店街の果たす役割は大きいと思う。
- ・来ていただくための施策だけでなく、宅配を行うなど、人件費はかかるかもしれないが、利用者とマッチングをはかったサービスが必要だと思う。
- ・子どもがいる場合は、トイレなどの工夫が必要だと思う。その整備が進むと優しい街になるのではないかと。

長谷川副会頭

- ・建築物を建てるときも、一階は商店ができるような設計にしてもらえないのか。そういう指導をしてもらうことなどはできないのか。
- ・マンションが多くなり、人口は多くなっているので協力しあうことで、温かみのある街、楽しい街にできるのではないかと。

橋本商業部会長

・建ぺい率の問題、容積率の問題があるので、そのあたりを皆さんに頑張ってもらって、横浜銀行なども一階が別に利用できるように建て替えてもらうなど、できないのか。

菊地議長

- ・容積率を 400 から 600 にしようという議論はある。しかし、税金が上がるなどの懸念もある。
- ・このような問題は、駅周辺に関しての総合意思決定機関を作って、地区計画などを決めてもらった上で、行政が一緒に取り組むことができる。
- ・以前、そのような活性化のための組織があったが、今はなくなってしまっている。
- ・専門家が必要であれば、そういう方を雇って行くなども必要である。

岡田氏

- ・そういう呼びかけをしても、応答してくださる方が少なくなっている。そういう会に参加したら、税金が安くなるなどの施策があれば私たちも呼びかけやすいと思う。
- ・商工部門ではやっているが、このようなことに目を向けてもらうような施策が必要だと思う。

神谷氏

・シャッター通りになってしまっている箇所があるが、持ち主と利用したい人をつなげて、費用なども少し補助して行うなどはどうか。そのようにすると人が来たりするので、商売が活性化することで税収などもあるのではないかな。

中村座長

- ・ここで、①については終了したい。
- ・平成 25 年に大和市商業戦略計画をつくる際、アンケートをとった。そこで、消費者は非常に商店街に期待しており、商店街は必要である、あったほうがよいとの意見があるのに対して、実際に商業者は比較的悲観的である。これから商店街は難しい、将来は厳しいなどの意見があった。
- ・消費者は、商店街を必要だと思っているのに、商店街の方は少し違う考えを持っているのかもしれないというのが大変興味深く思った。
- ・大和市には、約 23 万人、人が住んでいて、昼間の人口を入れればもっという。その人たちが何かものを食べ、何かを着るために買って、いろんな消費活動をして、消費ニーズはあるはず。大和市はまだまだ潜在的な消費ニーズがあるので、それをいかに商店街で取り込むのかが大きな課題ではないかな。

② 本市商業をとりまく課題について

神谷氏

・大和市は、以前から電車の行き来があって、駅の周りは栄えて来た。さっと開けている所とは違って、雑然としているように思う。その点を、すっきりとさせて、大和駅から降りて、誰でも降りて家族でも立ち寄れるような構造にしてはどうか。

石田議員

- ・どこの地域でも課題は、お金が回っていないということ。
- ・自助ではなく、商業も「共助」で協力しあって行くべきではないか。
- ・農業の共助のサービスの例として、有機農業の販売に、会員サービスで月に2時間など手伝ってもらおう方を集めて、低価格で売るなどのサービスがある。消費者に参加してもらおうような仕組みもある。
- ・新しい取り組みやキラリと光る事例で注目を集めて、周りを巻き込むなどの方法がよいのではないか。
- ・社会的に課題となっていることを重ね合わせて、解決していくようなことをして行く必要があるのではないか。
- ・行政が補助金を出して、うまくいった事例はあまり知らない。行政側が補助金を出したくなるような事例をつくる。それを共同参画で行うのはどうか。そのような取り組みを実施できた市民団体は、成功している。そのプロセスのやり方を大和市も行なっていくのはどうか。

中村座長

- ・商工会議所の中で、いろいろなサービスを行うところは、サービス事業部会としてまとまっているし、飲食業は飲食業部会、不動産は不動産部会がある。商業部会は、商店街を構成している個々の商店、商社、問屋などの、ものを売るといふ商売を基盤としている方々の会社が集まっているというところではないかと認識している。
- ・そのような大和市の商業が抱えている課題について、このような課題があるなどのご意見はあるか。

相手方

- ・大和市は交通の便がよいので、東名高速のインターチェンジも近く、商売を行うには立地的によい場所だと思う。実際に工場跡地もあるが、全体的には難しい。

岡田氏

- ・私どもでプレミアム商品券も売り切れて、デパートより安く買えるアイデアがあったが、これ以上のアイデアが出てこない。共助という形で、アイデアを出して行くことの重要性に気づかされた。
- ・ライラック商店街では、16年前にマーケティングリサーチをして、ここで商売をするときに、何人の人が通行するか、1週間リサーチした。多くて4万人の通行客。今はもっとももっと多くなっていると思う。
- ・しかし、お店が長続きしない。その原因について、聞くことができなかつたり、アイデアが勝負だと思うこともある。では、そういうアイデアがよいかと話し合うチャンスがなかったということも、私の身近にはあった。
- ・役所だけ、商業者だけで話し合うのではなく、共助という形で活性化するために考えていかなくてはいけないと思う。
- ・そのひとつに「異人街」があると思う。

古谷田議員

・コンビニが増えていると思う。大和市は人口が密集しているので、こんなところにもあるのかと思うほど出店している。個々でそれに対抗するのは難しいと思う。そうすると連携が大切であると思う。

- ・川越市では、小江戸を守って、外国人観光客を呼び込んでいる。
- ・商店街を皆でつくっていく、地域でつくり上げていくことが大事であると思う。

橋本商業部会長

- ・宇都宮市では、空き店舗の固定資産税を何年間か免除する、あるいは大家さんにちょっと待ってもらい、あるいはどこかからお金を持って来て補填したりしている。
- ・それでどうやってプロジェクトを立ち上げて、お金をどうするかなど考えると、アイデアがあっても進まない。その辺が課題だ。
- ・やればできないことはないと思うが、どういう風に進んで行くかという、人的なものとお金が絡んでくる。商工会議所のメンバーは、仕事もしているので、そのような時間をつくるのが難しい。他に頼むにしてもお金が必要なため、その辺の補助金を考えて行く必要がある。

山崎議員

- ・共助はとても大切だと思う。大和は、助け合いの輪が結構盛んなところではある。二条通りにある特定非営利活動法人は、普通の主婦たちが年商 2 億もある。経済白書でも以前取り上げられたことがある。
- ・商店街は、やはり地域の特色を出せるという面ではとても期待をしている。地方に行ってもどこでもイオンやイトーヨーカドーがあって、どこを見ても同じだと残念に思う。商店街だと特色があると、この地域に来たというのがわかるので、努力が必要だと思う。
- ・その中でお客さんとか、地域の人たち、高齢者、子育て世代を巻き込んだ街にしていけないとなかなか発展はないと思う。それがうまく回れば、委託するなどして、発展すると思う。
- ・地域のつながりがあって、そこに行政が手を貸して行く、そういう視点が大切なのではないかと思う。

中村座長

- ・そろそろ次の話に移っていききたい。
- ・共助の話もそうだが、商工会議所や商店街もまさに共助の場所なのではないかと思う。本来は、商売的にはライバルだけれども、同じような業種の方々が、集まって、同じような課題を一緒に考えて、課題を解決してよい方向に持っていけるのかなと思う。
- ・また、そういったところで意見を私どもが頂戴して、それをまた議会という場所でしっかりと議論をさせていただいて、行政に提案をしていきたいと思うので、今後も商工会議所の方から、また提案、ご意見をいただきたい。

③ これからの本市商業振興の方向性について

橋本商業部会長

- ・大和市は、市長が「まちの健康、人の健康」ということを打ち出している。我々零細企業や中

小企業もわくわくして元気になるような、新しい事業などをおこして、利益を出して内部利用をしながら税金をきっちと出すというのがよいと思う。内部留保はよくないと思う。

- ・アンケートによれば、消費者は商店街に期待しているが、商業者が悲観しているとあったが、このままではなく、会社や市でもその先のビジョンをたてて、可視化していかなくてはいけないと思う。そして毎年見直して、課題を解消して、やっていけば面白いと思う。商工会議所と市で協力して、やっていかないといけないと思う。それで、大和市も大きく活性化して、変わって行くのではないか。

- ・商工会議所もシリウスも新しくなって、市民が期待しているところなので、この機会に一体になって、ビジョンと一緒に、我が市のあるべき姿を描いていかないといけない。そして、PDCAを回していかないとその場その場になってしまうとダメだと思う。

- ・まちの健康というけれど、企業も企業市民である。97パーセントが中小企業に勤めているので、この部分が活性化していかないといけないと思う。

中村座長

- ・大和は、大和市商業振興条例というのがある。商業振興条例でいう商業者というのは、小売物販だけではなく、飲食とかサービスなどを含む。建設業や製造業など以外である。その中で大和市の役割、経済団体としての商工会議所の役割、商業者の役割、そして市民の協力など役割分担の規定をして、それぞれがそれぞれの役割をしっかりと果たしていくことで、商業振興をしていくという条例がある。

- ・その条例に基づいて、商業戦略計画が作られて、今5年計画で進行しているところである。それも折り返しになり、次の改定作業に取り掛かるところである。商業戦略計画の改定の際に、商工会議所からもいろいろご意見をいただいて、よりよい計画にしていけば、地域の商業振興につながるのではないかと考えている。

岡田氏

- ・持ち帰って、いろいろな共助の形を検討したい。実現する形は、議員の方々に持ち帰っていただけたらと思った。

石田議員

- ・具体的にわくわくする事業が、議員、商業、市民だけではできない。「異人街」はよいアイデアだと思う。そのネーミングやキャッチコピー、イベントなども考えていけたらいいのではないか。

- ・誰もがWin-Winになれるビジョンにして、みんなで取り組みをして行くことができたならとてもよいと思う。

- ・シリウスができて、期待感が高まっている今、そういう打ち出しができたならとてもよいと思う。

古谷田議員

- ・お金をかけずにできることなどをやって行くのがよいのではないか。

- ・大和市では当たり前でも他市ではないものがある。例えば、ドカベンスタジアム、ゆとりの森など。

- ・もっと市民の中の大和愛というのを育てて行く必要があるのではないか。他市でご飯を食べるのではなく、大和市でご飯食べようなどと、とてもいいと思う。

菊地議長

- ・墨田区は、とてもブランド化している。墨田区をブランド戦略で打ち出して行く。大和市もそのようなことをできるのではないかと。大和駅周辺を、マーケティングしながら盛りあげたらよいのではないかと。また、昭和通りの、昭和のよい時代の和南市などもよいのではないかと。
- ・マーケティングを行い、もちろん市民も入ってもらって、そういうニーズに合わせて、行うのがいいのではないかと。
- ・商店街だけに任せるのだけはダメだと思う。彦根市は医師が行った。
- ・専門家や周りの住民を巻き込んで行うことが重要である。

古谷田議員

- ・鶴間だけ、駅前でお祭りをやっていない。鶴間のあたりを、商店街を絡めて盛り上げたい。

中村座長

- ・最後に全体を通じて、意見はあるか。

古木議員

- ・高齢化を迎え、和南市の目指す健康都市としても、医商連携が必要だと思う。和南市の医療関係者の商工会議所の加入率はどうか。医商連携を行政が何か支援できるのであればという思いもあるので、医商の連携についてのご意見をお伺いしたい。

岡田氏

- ・こちらも考えていかなければならないと思う。

長谷川副会頭

- ・毎春に健康診断をしているが、結果が悪くてもなかなか病院に行かず、結果的に会社の負担になったり、本人が倒れたりということがあるので、例えば、市にお金を預けておいて、診断に行かないとそれが没収されるなどのシステムはどうか。

岡田氏

- ・医商連携については、これからまだ考えていかななくてはいけない。実際に私の息子も医師ですが、商工会議所に入っている。
- ・健康都市は、様々な視点から考えていかななくてはいけないと思っている。

中村座長

- ・私自身、行政書士だが、最初は商工会議所に入れなかった。しかし、知り合いが会議所の青年部をやっていて、商工会議所に入ると言われたので、入会の申し込みをした。
- ・商工会議所なので、商業でも、工業でもどちらでもなくて、入れるのかわからない方もいるのではないかと。

岡田氏

- ・ 医師も、保育園も、お寺も、サービス業であれば商工会議所に入れると思う。

中村座長

- ・ 議会でも総合的な経済団体としての商工会議所を応援させていただきたいと思う。大和市の経済の中核を担っていると思うので、具体的な政策を商工会議所からも提案いただき、議会でも審議させていただいて、行政に反映できるようにしていきたい。
- ・ 時間も迫ってきたので、その他ということで意見はあるか。

石田議員

- ・ 本委員会で視察などに行って、中村委員長がまとめて、共通できることを委員会として打ち出していけないかという話をしたが、同じものを見て、問題意識を共有し、足並みを揃えることができた。
- ・ 団体の方々と一緒に視察に行くというのは、難しいのか。自費でも行って、ビジョンを共有できると面白いのではないか。
- ・ コンセプトなどが固まって来たら、先進市に行って、そこで行っていることを見て、ビジョンをみんなで共有し、さらに具体的な事例を見ることで、何をやっていくかが進むと思う。

中村座長

- ・ 今後、本委員会でも協議させていただいて、商工会議所商業部会の方でも考えていただきたいと思う。
- ・ 同じものを見て、共通の認識を持って、では議会は何ができるのか、商工会議所は何ができるのか、個々の事業者は何ができるのか、それぞれの役割で考えていけると、今までと違った展開になるかもしれない。

古谷田議員

- ・ 以上で全ての日程を終了する。
- ・ これをもって、意見交換会を終了したい。